

科学的不確実性下の社会的判断と 科学者の役割

担当：本堂 毅 准教授 ゲスト：中島貴子 単位：1 単位（集中講義形式）

震災以降、社会の中での専門家のあり方が、これまで以上に問われている。

科学者は専門知識の生産者として、その知識の発信者として、あるいは市民の科学観に関わる科学教育を担う者として、社会的な責任を負っている。また、不確実性の高い現象をも社会的判断の材料として評価することが求められる。このとき、私たち科学者は「中立性」や「客観性」をどのような形で保ち、社会との建設的な対話を築きうるのだろうか。

本講義では初日に、この問題で先駆的な研究を行ってきたStirlingの科学的不定性(scientific uncertainty)類型 (Nature, 468:1029, 2010)を取り上げ、中島貴子氏の特別講義で具体例を学ぶ。翌日に全体討論を行い、科学的中立性・客観性、科学者の役割について、不可欠な論点を明らかにする。



2013年

1月11日(金) 13:00~18:00

第2講義室

理学研究科合同A棟2階204号室

- 科学の不定性と社会的判断について
- 16:30~18:00 中島貴子氏の講演

1月12日(土) 10:00~12:00

第3講義室

理学研究科合同A棟2階205号室

- 全体討論

ゲスト：中島 貴子氏の特別講演

1月11日(金) 16:30~18:00

科学技術のリスク評価における 非専門家の役割

—戦後日本の食品安全問題を中心に—

第2講義室

理学研究科合同A棟2階204号室

※グローバルCOEプログラム 物質階層を紡ぐ科学フロンティアの新展開



連絡先：本堂 毅 hondou@mail.sci.tohoku.ac.jp (内線5823)

詳細 <http://web.sci.tohoku.ac.jp/hondou/3-kagakuto.html>

参加は幅広く受け入れます。

